



DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 開 発ボード Demo

ユーザーガイド

DBUG1282-1.0J, 2025-03-07

著作権について(2025)

著作権に関する全ての権利は、**Guangdong Gowin Semiconductor Corporation** に留保されています。

GOWIN 高云 及び **Gowin** は、当社により、中国、米国特許商標庁、及びその他の国において登録されています。商標又はサービスマークとして特定されたその他全ての文字やロゴは、それぞれの権利者に帰属しています。何れの団体及び個人も、当社の書面による許可を得ず、本文書の内容の一部もしくは全部を、いかなる視聴覚的、電子的、機械的、複写、録音等の手段によりもしくは形式により、伝搬又は複製をしてはなりません。

免責事項

当社は、GOWINSEMI Terms and Conditions of Sale (GOWINSEMI 取引条件) に規定されている内容を除き、(明示的か又は黙示的かに拘わらず) いかなる保証もせず、また、知的財産権や材料の使用によりあなたのハードウェア、ソフトウェア、データ、又は財産が被った損害についても責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本文書の内容を変更することができます。本文書を参照する何れの団体及び個人も、最新の文書やエラッタ(不具合情報)については、当社に問い合わせる必要があります。

バージョン履歴

日付	バージョン	説明
2025/03/07	1.0J	初版。

目次

目次	i
図一覧	v
表一覧	vii
1 本マニュアルについて	1
1.1 マニュアルの内容	1
1.2 関連ドキュメント	1
1.3 用語、略語	1
1.4 テクニカル・サポートとフィードバック	2
2 デモの概要	3
3 基本デモ	5
3.1 1 ビット LED 点滅実験	5
3.1.1 デモの機能	5
3.1.2 デモのハードウェア・コンポーネント	5
3.1.3 デモのハードウェア接続	6
3.1.4 デモの効果	7
3.2 シリアル通信ループバック実験 (115200bps)	7
3.2.1 デモの機能	7
3.2.2 デモのハードウェア・コンポーネント	7
3.2.3 デモのハードウェア接続	8
3.2.4 デモの効果	9
3.3 1280*720@60 HDMI ディスプレイ表示実験	9
3.3.1 デモの機能	9
3.3.2 デモのハードウェア・コンポーネント	9
3.3.3 デモのハードウェア接続	10

3.3.4 デモの効果	11
3.4 1920*1080@60 HDMI ディスプレイ表示実験	11
3.4.1 デモの機能	11
3.4.2 デモのハードウェア・コンポーネント	11
3.4.3 デモのハードウェア接続	12
3.4.4 デモの効果	13
3.5 1024*600@60 LVDS LCD ディスプレイ表示実験	13
3.5.1 デモの機能	13
3.5.2 デモのハードウェア・コンポーネント	13
3.5.3 デモのハードウェア接続	14
3.5.4 デモの効果	16
3.6 1080*1920@60 MIPI DSI LCD ディスプレイ表示実験	16
3.6.1 デモの機能	16
3.6.2 デモのハードウェア・コンポーネント	16
3.6.3 デモのハードウェア接続	17
3.6.4 デモの効果	18
3.7 1920*1080@60 DP ディスプレイ表示実験	18
3.7.1 デモの機能	18
3.7.2 デモのハードウェア・コンポーネント	18
3.7.3 デモのハードウェア接続	19
3.7.4 デモの効果	20
3.8 1920*1080@60 DP ディスプレイ受信・表示実験	20
3.8.1 デモの機能	20
3.8.2 デモのハードウェア・コンポーネント	20
3.8.3 デモのハードウェア接続	21
3.8.4 デモの効果	22
3.9 1920*1080@60 DDR3 画像バッファリングと HDMI ディスプレイ表示実験	22
3.9.1 デモの機能	22
3.9.2 デモのハードウェア・コンポーネント	22
3.9.3 デモのハードウェア接続	24
3.9.4 デモの効果	24

3.10 1024*600@60 DDR3 画像バッファリングと LVDS ディスプレイ表示実験	24
3.10.1 デモの機能	24
3.10.2 デモのハードウェア・コンポーネント	25
3.10.3 デモのハードウェア接続	25
3.10.4 デモの効果	26
3.11 1080*1920@60 DDR3 画像バッファリングと MIPI DSI LCD ディスプレイ表示実験 ..	26
3.11.1 デモの機能	26
3.11.2 デモのハードウェア・コンポーネント	26
3.11.3 デモのハードウェア接続	27
3.11.4 デモの効果	28
4 画像デモ	29
4.1 SC130GS 白黒 1 レーン HDMI ディスプレイ表示プロジェクト	29
4.1.1 デモの機能	29
4.1.2 デモのハードウェア・コンポーネント	29
4.1.3 デモのハードウェア接続	30
4.1.4 デモの効果	31
4.2 SC130GS 白黒 1 レーン LVDS ディスプレイ表示プロジェクト	32
4.2.1 デモの機能	32
4.2.2 デモのハードウェア・コンポーネント	32
4.2.3 デモのハードウェア接続	33
4.2.4 デモの効果	34
4.3 SC2210 カラー1 レーン HDMI ディスプレイ表示プロジェクト	34
4.3.1 デモの機能	34
4.3.2 デモのハードウェア・コンポーネント	35
4.3.3 デモのハードウェア接続	36
4.3.4 デモの効果	37
4.4 SC2210 カラー1 レーン LVDS ディスプレイ表示プロジェクト	38
4.4.1 デモの機能	38
4.4.2 デモのハードウェア・コンポーネント	38
4.4.3 デモのハードウェア接続	39
4.4.4 デモの効果	40

4.5 IMX586 1920x1080@60 HDMI ディスプレイ表示プロジェクト	40
4.5.1 デモの機能	40
4.5.2 デモのハードウェア・コンポーネント	40
4.5.3 デモのハードウェア接続	42
4.5.4 デモの効果	43
4.6 IMX586 1024x600@60 LVDS ディスプレイ表示プロジェクト	44
4.6.1 デモの機能	44
4.6.2 デモのハードウェア・コンポーネント	44
4.6.3 デモのハードウェア接続	45
4.6.4 デモの効果	46

図一覧

図 3-1 LED 点滅実験のハードウェア・コンポーネント	6
図 3-2 LED 点滅実験のハードウェア接続図	7
図 3-3 UART シリアル通信ループバック実験のハードウェア・コンポーネント	8
図 3-4 UART シリアル通信ループバック実験のハードウェア接続図	9
図 3-5 1280*720@60 HDMI ディスプレイ表示実験のハードウェア・コンポーネント	10
図 3-6 1280*720@60 HDMI ディスプレイ表示実験のハードウェア接続図	11
図 3-7 1920*1080@60 HDMI ディスプレイ表示実験のハードウェア・コンポーネント	12
図 3-8 1920*1080@60 HDMI ディスプレイ表示実験のハードウェア接続図	13
図 3-9 1024*600@60 LVDS LCD ディスプレイ表示実験のハードウェア・コンポーネント	13
図 3-10 1024*600@60 LVDS LCD ディスプレイ表示実験のハードウェア接続図	15
図 3-11 1080*1920@60 DSI LCD ディスプレイ表示実験のハードウェア・コンポーネント	16
図 3-12 1080*1920@60 DSI LCD ディスプレイ表示実験のハードウェア接続図	18
図 3-13 1920*1080@60 DP ディスプレイ表示実験のハードウェア・コンポーネント	19
図 3-14 1920*1080@60 DP ディスプレイ表示実験のハードウェア接続図	20
図 3-15 1920*1080@60 DP ディスプレイ受信・表示実験のハードウェア・コンポーネント	20
図 3-16 1920*1080@60 DP ディスプレイ受信・表示実験のハードウェア接続図	22
図 3-17 1920*1080@60 DDR3 画像バッファリングと HDMI ディスプレイ表示実験のハードウェア・コンポーネント	23
図 3-18 1920*1080@60 DDR3 画像バッファリングと HDMI ディスプレイ表示実験のハードウェア接続図	24
図 3-19 1024*600@60 DDR3 画像バッファリングと LVDS ディスプレイ表示実験のハードウェア・コンポーネント	25
図 3-20 1024*600@60 DDR3 画像バッファリングと LVDS ディスプレイ表示実験のハードウェア接続図	26
図 3-21 1080*1920@60 DDR3 画像バッファリングと DSI LCD ディスプレイ表示実験のハードウェア・コンポーネント	27

図 3-22 1080*1920@60 DDR3 画像バッファリングと DSI LCD ディスプレイ表示実験のハードウェア 接続図	28
図 4-1 SC130GS 白黒 1 レーン HDMI ディスプレイ表示プロジェクトのハードウェア・コンポーネン ト	30
図 4-2 SC130GS 白黒 1 レーン HDMI ディスプレイ表示プロジェクトのハードウェア接続図	31
図 4-3 SC130GS 白黒 1 レーン LVDS ディスプレイ表示プロジェクトのハードウェア・コンポーネン ト	33
図 4-4 SC130GS 白黒 1 レーン LVDS ディスプレイ表示プロジェクトのハードウェア接続図	34
図 4-5 SC2210 カラー1 レーン HDMI ディスプレイ表示プロジェクトのハードウェア・コンポーネン ト	35
図 4-6 SC2210 カラー1 レーン HDMI ディスプレイ表示プロジェクトのハードウェア接続図	37
図 4-7 SC2210 カラー1 レーン LVDS ディスプレイ表示プロジェクトのハードウェア・コンポーネン ト	39
図 4-8 SC2210 カラー1 レーン LVDS ディスプレイ表示プロジェクトのハードウェア接続図	40
図 4-9 IMX586 1920x1080@60 HDMI ディスプレイ表示プロジェクトのハードウェア・コンポーネン ト	41
図 4-10 IMX586 1920x1080@60 HDMI ディスプレイ表示プロジェクトのハードウェア接続図	43
図 4-11 IMX586 1024x600@60 LVDS ディスプレイ表示プロジェクトのハードウェア・コンポーネン ト	45
図 4-12 IMX586 1024x600@60 LVDS ディスプレイ表示プロジェクトのハードウェア接続図	46

表一覧

表 1-1 用語、略語	1
表 2-1 基本デモの紹介	3
表 2-2 画像デモの紹介	4

1 本マニュアルについて

1.1 マニュアルの内容

DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 開発ボード(以下、開発ボード)の Demo(デモ)ユーザーガイドには、主にデモの機能、ハードウェア・コンポーネント、ハードウェア接続方法、およびデモの効果が記載されています。

1.2 関連ドキュメント

GOWIN セミコンダクターの[ホームページ](#)から、以下の関連ドキュメントがダウンロード、参考できます：

1.3 用語、略語

本マニュアルで使用される用語、略語、及びその意味を表 1-1 に示します。

表 1-1 用語、略語

用語、略語	正式名称	意味
DP	DisplayPort	ディスプレイポート
DSI	Display Serial Interface	ディスプレイ・シリアル・インターフェース
HDMI	High-Definition Multimedia Interface	高精細度マルチメディア・インターフェース
LVDS	Low-Voltage Differential Signaling	低電圧差動信号
MIPI	Mobile Industry Processor Interface	モバイル産業用プロセッサ・インターフェース
UART	Universal Asynchronous Receiver/Transmitter	汎用非同期送受信機

1.4 テクニカル・サポートとフィードバック

GOWIN セミコンダクターは、包括的な技術サポートをご提供しています。使用に関するご質問、ご意見については、直接弊社までお問い合わせください。

ホームページ : www.gowinsemi.com/ja

E-mail : support@gowinsemi.com

2 デモの概要

デモには、基本デモと画像デモがあります。基本デモは、HDMI、DDR3、LVDS、DSI、DP などの開発ボードの基本機能をテストするために使用されます。画像デモは、DDR3、MIPI CPHY ハードコア、MIPI DPHY ソフトコアをベースに様々なカメラの HDMI および LVDS ディスプレイの表示実験を行うために使用されます。

表 2-1 基本デモの紹介

番号	プロジェクト名	設計の説明
1	01_G60_LED_1bit_Test	1 ビット LED 点滅実験
2	02_G60_UART_Test_115200	シリアル通信ループバック実験 (115200bps)
3	03-1_G60_HDMI_Display_7200P60	1280*720@60 HDMI ディスプレイ表示実験
4	03-2_G60_HDMI_Display_1080P60	1920*1080@60 HDMI ディスプレイ表示実験
5	04_G60_LVDS_Display_1024x600	1024*600@60 LVDS LCD ディスプレイ表示実験
6	05_G60_DSI_Display_1080x1920	1080*1920@60 MIPI DSI LCD ディスプレイ表示実験
7	06_G60_DP_Display_1080P60	1920*1080@60 DP ディスプレイ表示実験
8	07_G60_DP_Display_1080P60_RX2TX	1920*1080@60 DP ディスプレイ受信表示実験
9	08-1_G60_DDR3_HDMI_Display_1080P60	1920*1080@60 DDR3 画像バッファリングと HDMI ディスプレイ表示実験
10	08-2_G60_DDR3_LVDS_Display_1024x600	1024*600@60 DDR3 画像バッファリングと LVDS ディスプレイ表示実験

番号	プロジェクト名	設計の説明
11	08-3_G60_DDR3_DSI_ Display_10801920	1080*1920@60 DDR3 画像バッファリング と MIPI DSI LCD ディスプレイ表示実験

表 2-2 画像デモの紹介

番号	プロジェクト名	設計の説明
1	01-1_SC130GS_DDR3_ HDMI_720P60	DPHY ソフトコアと DDR3 ベースの SC130GS 白黒 1 レーン HDMI ディスプレイ表示プロジ ェクト
2	01-2_SC130GS_DDR3_ LVDS_1024600	DPHY ソフトコアと DDR3 ベースの SC130GS 白黒 1 レーン LVDS ディスプレイ表示プロジ ェクト
3	02-1_SC2210_DDR3_ HDMI_1080P60	DPHY ソフトコアと DDR3 ベースの SC2210 カラー1 レーン HDMI ディスプレイ表示プロ ジェクト
4	02-2_SC2210_DDR3_ LVDS_1024600	DPHY ソフトコアと DDR3 ベースの SC2210 カラー1 レーン LVDS ディスプレイ表示プロジ ェクト
5	03-1_IMX586_DDR3_HDMI _1080P60	CPHY ハードコアベースの IMX586 1920x1080@60 HDMI ディスプレイ表示プロ ジェクト
6	03-2_IMX586_DDR3_LVDS _1024600	CPHY ハードコアベースの IMX586 1024x600@60 LVDS ディスプレイ表示プロジ ェクト

3 基本デモ

3.1 1 ビット LED 点滅実験

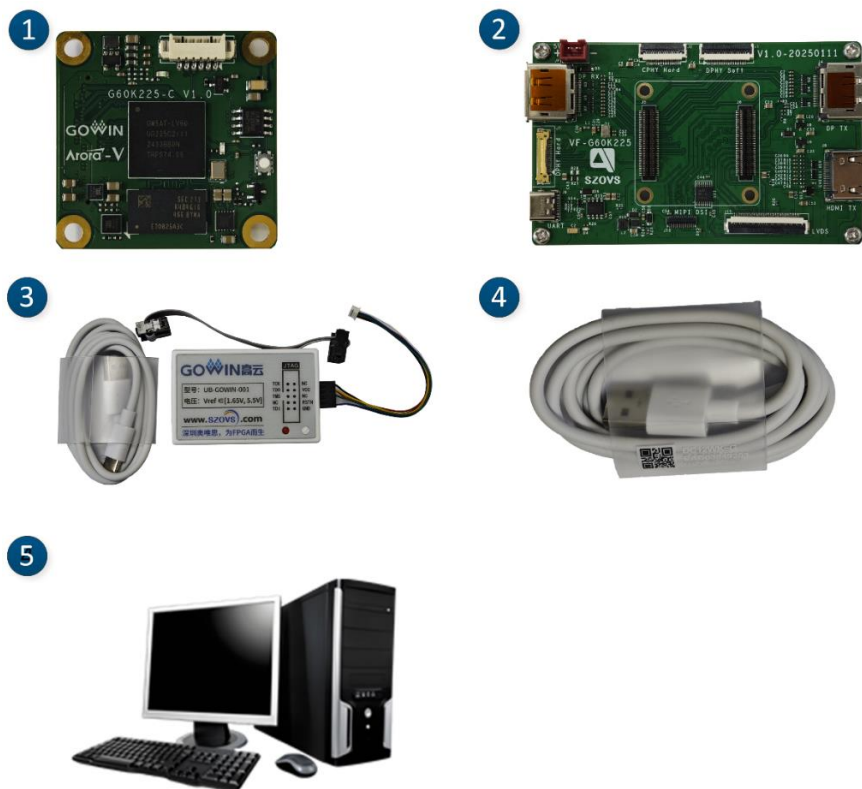
3.1.1 デモの機能

コアボード上の LED 点滅を実装します。

3.1.2 デモのハードウェア・コンポーネント

1. DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 コアボード
2. DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 ベースボード
3. USB ダウンローダ
4. Type-C ケーブル
5. PC

図 3-1 LED 点滅実験のハードウェア・コンポーネント



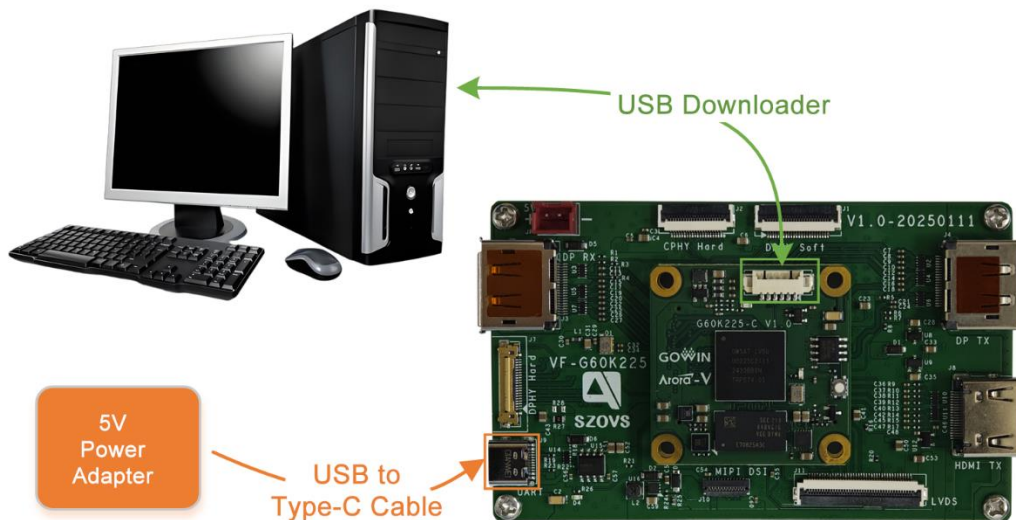
- ① DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0コアボード
- ② DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0ベースボード
- ③ USBダウンロード
- ④ Type-Cケーブル
- ⑤ PC

3.1.3 デモのハードウェア接続

1. まず、コアボードをベースボードに挿入します。
2. USB ダウンローダをコアボード上の ZH1.25-6 コネクタ (J4) に接続します。
3. 最後に、5V 電源アダプターの Type-C ケーブルをベースボード上の USB Type-C コネクタ (J9) に挿入し、開発ボードに電源を供給します。

ハードウェア接続図は次のとおりです。

図 3-2 LED 点滅実験のハードウェア接続図



3.1.4 デモの効果

プログラムがダウンロードされた後、コアボード上の LED が点滅します。

3.2 シリアル通信ループバック実験 (115200bps)

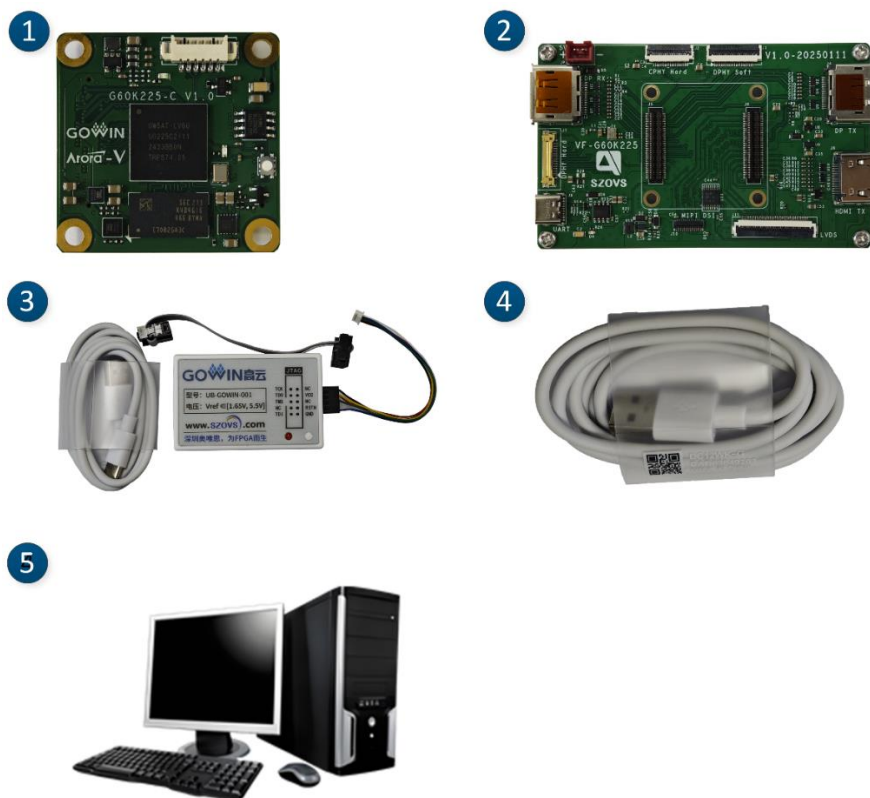
3.2.1 デモの機能

115200bps のボーレートでシリアル・データのループバックテストを実装します。

3.2.2 デモのハードウェア・コンポーネント

1. DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 コアボード
2. DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 ベースボード
3. USB ダウンローダ
4. Type-C ケーブル
5. PC

図 3-3 UART シリアル通信ループバック実験のハードウェア・コンポーネント



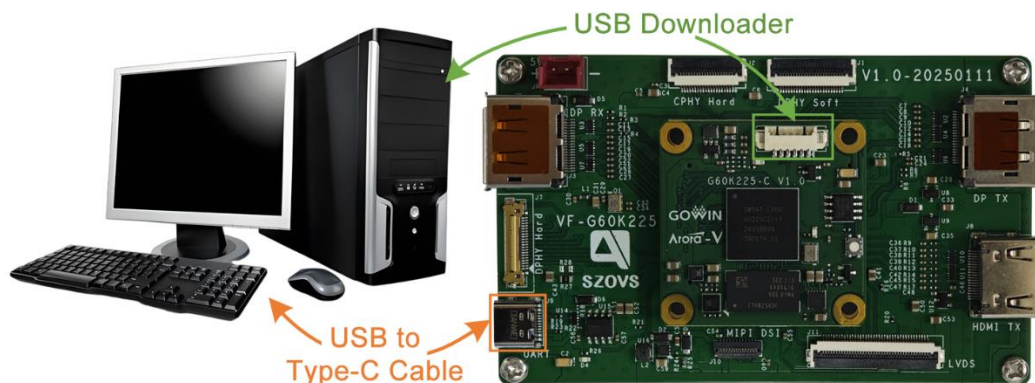
- ① DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 コアボード
- ② DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 ベースボード
- ③ USB ダウンローダ
- ④ Type-C ケーブル
- ⑤ PC

3.2.3 デモのハードウェア接続

1. まず、コアボードをベースボードに挿入します。
2. USB ダウンローダをコアボード上の ZH1.25-6 コネクタ (J4) に接続します。
3. 最後に、Type-C ケーブルの一端をベースボード上の USB Type-C コネクタ (J9) に挿入し、もう一端を PC に接続します。

ハードウェア接続図は次のとおりです。

図 3-4 UART シリアル通信ループバック実験のハードウェア接続図



3.2.4 デモの効果

プログラムをダウンロードし、シリアル・デバッグ・ツールを開いてポートを選択し、ボーレートを 115200、ストップ・ビットを 1、データ・ビットを 8、パリティ・ビットを None に設定した後、受信した文字は送信した文字と一致します。

3.3 1280*720@60 HDMI ディスプレイ表示実験

3.3.1 デモの機能

720P HDMI ディスプレイ表示を実現します。

3.3.2 デモのハードウェア・コンポーネント

1. DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 コアボード
2. DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 ベースボード
3. USB ダウンローダ
4. Type-C ケーブル
5. ディスプレイ (HDMI インターフェース付き)
6. HDMI ケーブル
7. PC

図 3-5 1280*720@60 HDMI ディスプレイ表示実験のハードウェア・コンポーネント



- ① DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0コアボード
- ② DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0ベースボード
- ③ USBダウンローダ
- ④ Type-Cケーブル
- ⑤ ディスプレイ (HDMIインターフェース付き)
- ⑥ HDMIケーブル
- ⑦ PC

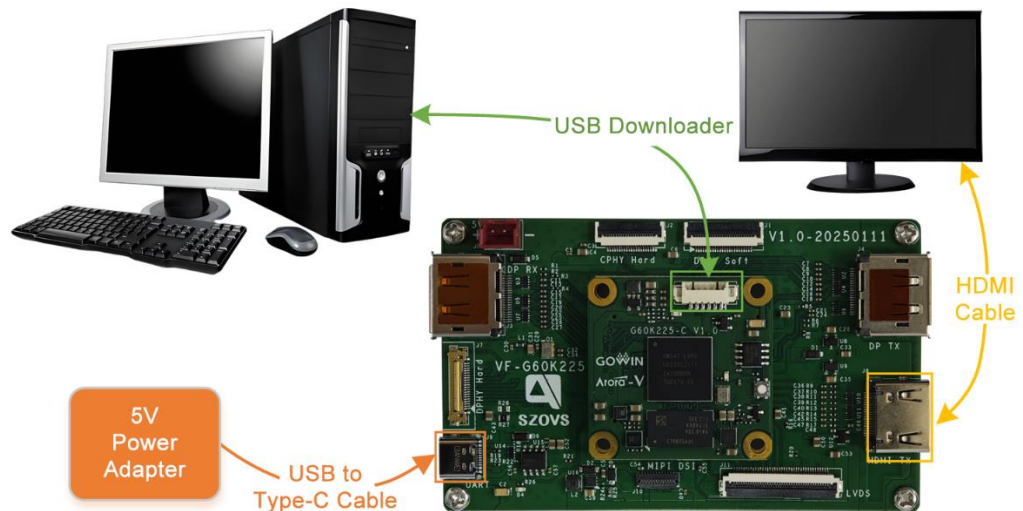
3.3.3 デモのハードウェア接続

1. まず、コアボードをベースボードに挿入します。
2. USB ダウンローダをコアボード上の ZH1.25-6 コネクタ (J4) に接続します。

3. HDMI ケーブルを使用して、HDMI ディスプレイをベースボード上の HDMI インターフェース(J8)に接続します。
4. 最後に、5V 電源アダプターの Type-C ケーブルをベースボード上の USB Type-C コネクタ (J9) に挿入し、開発ボードに電源を供給します。

ハードウェア接続図は次のとおりです。

図 3-6 1280*720@60 HDMI ディスプレイ表示実験のハードウェア接続図



3.3.4 デモの効果

プログラムがダウンロードされた後、HDMI ディスプレイに 4 つの画像がループして表示されます。

3.4 1920*1080@60 HDMI ディスプレイ表示実験

3.4.1 デモの機能

1080P HDMI ディスプレイ表示を実装します。

3.4.2 デモのハードウェア・コンポーネント

1. DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 コアボード
2. DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 ベースボード
3. USB ダウンローダ
4. Type-C ケーブル
5. ディスプレイ (HDMI インターフェース付き)
6. HDMI ケーブル
7. PC

図 3-7 1920*1080@60 HDMI ディスプレイ表示実験のハードウェア・コンポーネント



- ① DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0コアボード
- ② DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0ベースボード
- ③ USBダウンローダ
- ④ Type-Cケーブル
- ⑤ ディスプレイ (HDMIインターフェース付き)
- ⑥ HDMIケーブル
- ⑦ PC

3.4.3 デモのハードウェア接続

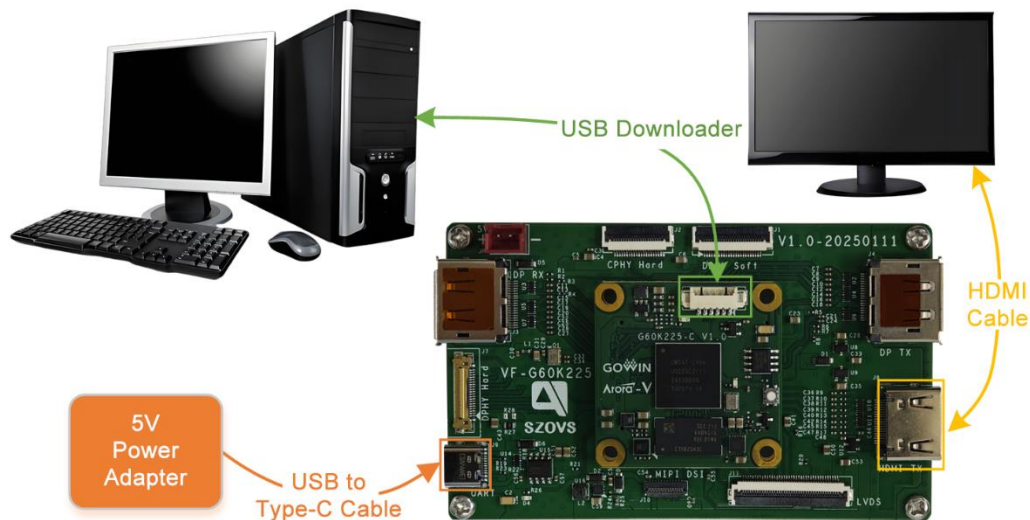
1. まず、コアボードをベースボードに挿入します。
2. USB ダウンローダをコアボード上の ZH1.25-6 コネクタ (J4) に接続します。
3. HDMI ケーブルを使用して、HDMI ディスプレイをベースボード上の

HDMI インターフェース(J8)に接続します。

- 最後に、5V 電源アダプターの Type-C ケーブルをベースボード上の USB Type-C コネクタ (J9) に挿入し、開発ボードに電源を供給します。

ハードウェア接続図は次のとおりです。

図 3-8 1920*1080@60 HDMI ディスプレイ表示実験のハードウェア接続図



3.4.4 デモの効果

プログラムがダウンロードされた後、HDMI ディスプレイに 4 つの画像がグループして表示されます。

3.5 1024*600@60 LVDS LCD ディスプレイ表示実験

3.5.1 デモの機能

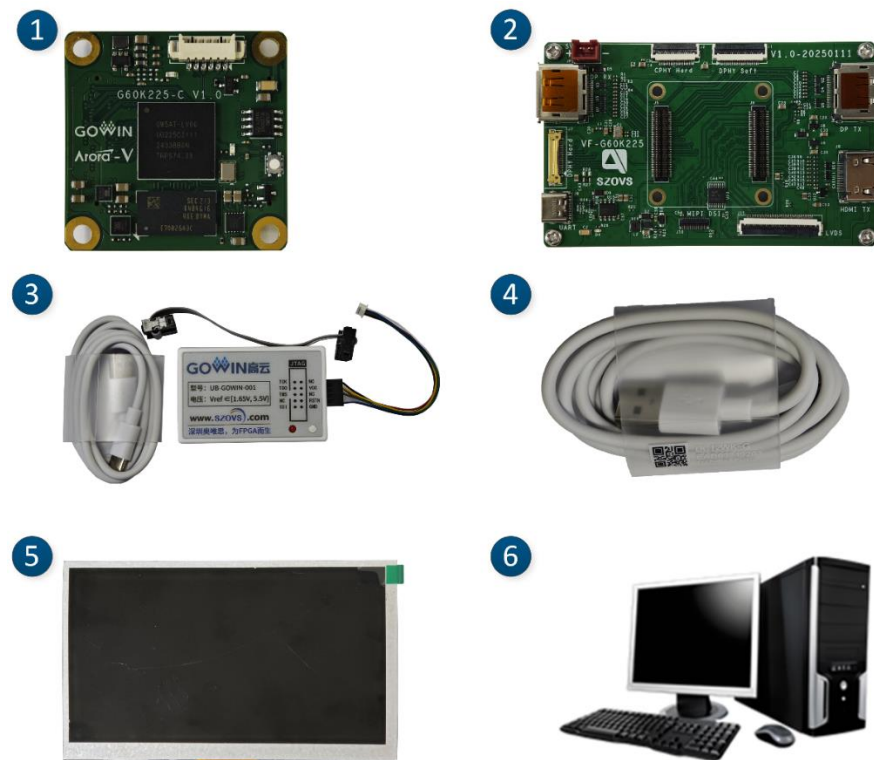
解像度 1024*600 の LVDS ディスプレイ表示を実装します。

3.5.2 デモのハードウェア・コンポーネント

1. DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 コアボード
2. DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 ベースボード
3. USB ダウンローダ
4. Type-C ケーブル
5. 1024*600 LVDS/RGB LCD ディスプレイ
6. PC

図 3-9 1024*600@60 LVDS LCD ディスプレイ表示実験のハードウェア・コンポーネント

ント



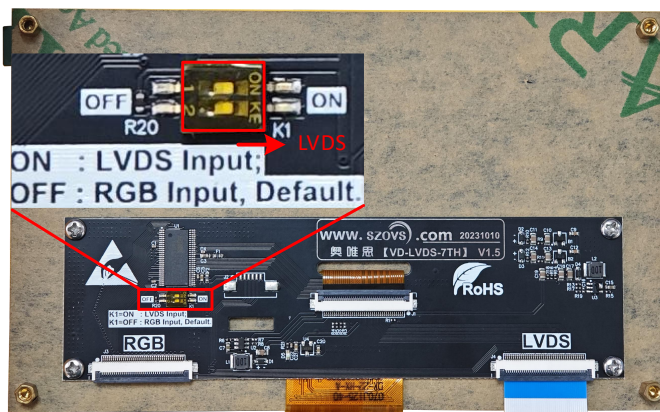
- ① DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0コアボード
- ② DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0ベースボード
- ③ USBダウンローダ
- ④ Type-Cケーブル
- ⑤ 1024*600 LVDS/RGB LCDディスプレイ
- ⑥ PC

3.5.3 デモのハードウェア接続

1. まず、コアボードをベースボードに挿入します。
2. USB ダウンローダをコアボード上の ZH1.25-6 コネクタ (J4) に接続します。
3. FPC ケーブルを使用して、LVDS ディスプレイをベースボード上の LVDS インターフェース(J11)に接続します。
4. 最後に、5V 電源アダプターの Type-C ケーブルをベースボード上の USB Type-C コネクタ (J9) に挿入し、開発ボードに電源を供給します。

注記：

- 解像度 1024×600 の 7 インチ LCD ディスプレイが RGB と LVDS の両方の入力フォーマットをサポートしており、背面の DIP スイッチを LVDS に設定する必要があります (下図参照)。

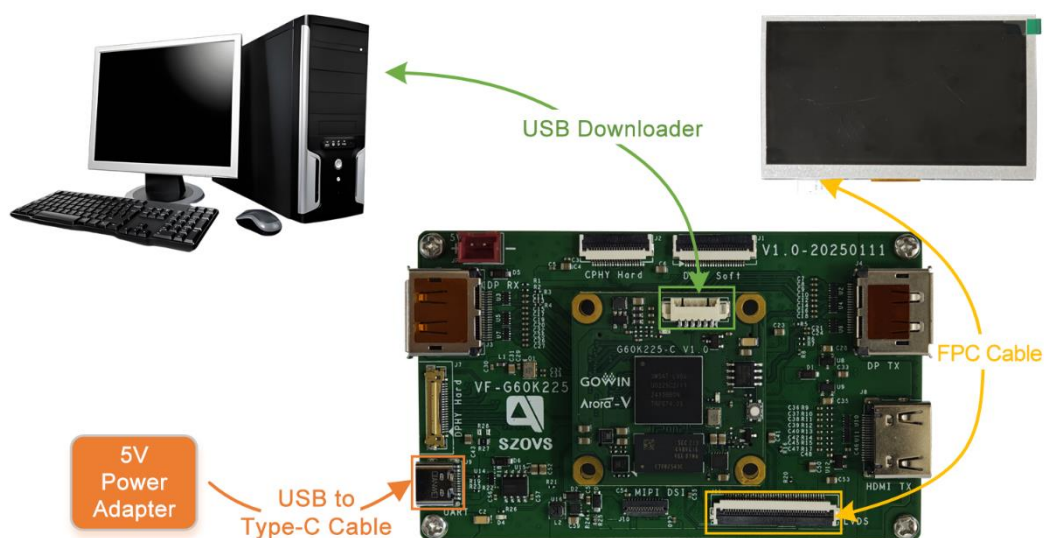


- 解像度 1024×600 の 7 インチ LCD ディスプレイは、0.5mm ピッチの 40P 同方向 FPC ケーブルを使用しています。FPC ケーブルをコネクタに接続する際は、金属面を下向き、青い補強板面を上向きにしてください。下図に示すとおりです。



ハードウェア接続図は次のとおりです。

図 3-10 1024*600@60 LVDS LCD ディスプレイ表示実験のハードウェア接続図



3.5.4 デモの効果

プログラムがダウンロードされた後、LVDS ディスプレイに 4 つの画像がループして表示されます。

3.6 1080*1920@60 MIPI DSI LCD ディスプレイ表示実験

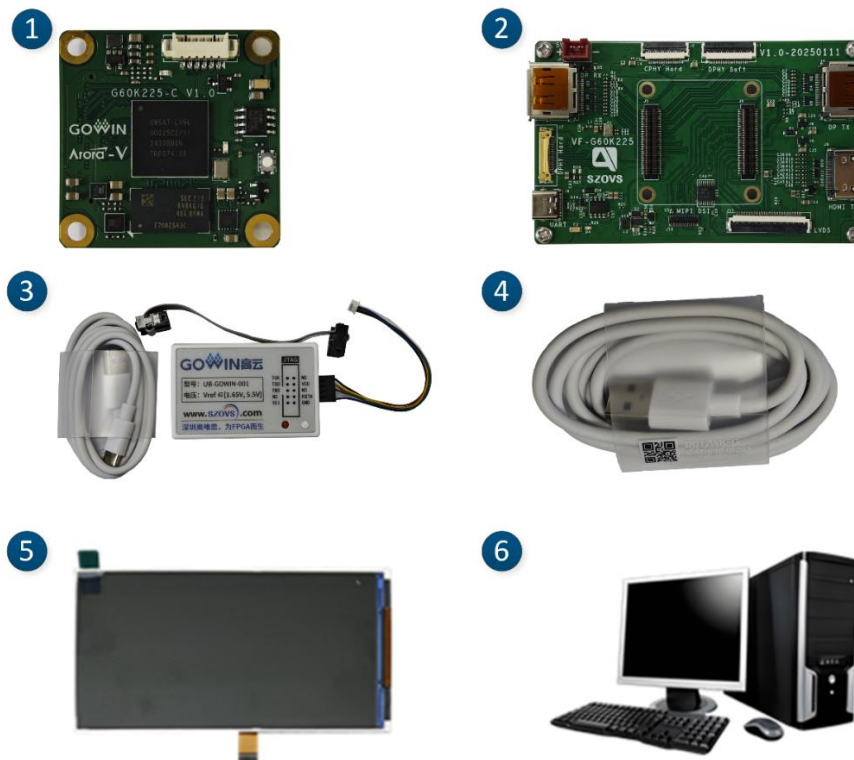
3.6.1 デモの機能

1080P MIPI 液晶ディスプレイ表示を実装します。

3.6.2 デモのハードウェア・コンポーネント

1. DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 コアボード
2. DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 ベースボード
3. USB ダウンローダ
4. Type-C ケーブル
5. 1080×1920 MIPI 液晶ディスプレイ
6. PC

図 3-11 1080*1920@60 DSI LCD ディスプレイ表示実験のハードウェア・コンポーネント



① DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 コアボード

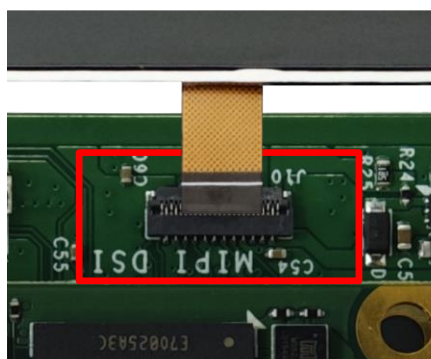
- ② DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0ベースボード
- ③ USBダウンロード
- ④ Type-Cケーブル
- ⑤ 1080×1920 MIPI液晶ディスプレイ
- ⑥ PC

3.6.3 デモのハードウェア接続

1. まず、コアボードをベースボードに挿入します。
2. USB ダウンローダをコアボード上の ZH1.25-6 コネクタ (J4) に接続します。
3. FPC ケーブルを使用して、MIPI 液晶ディスプレイをベースボード上の MIPI DSI インターフェース(J10)に接続します。
4. 最後に、5V 電源アダプターの Type-C ケーブルをベースボード上の USB Type-C コネクタ (J9) に挿入し、開発ボードに電源を供給します。

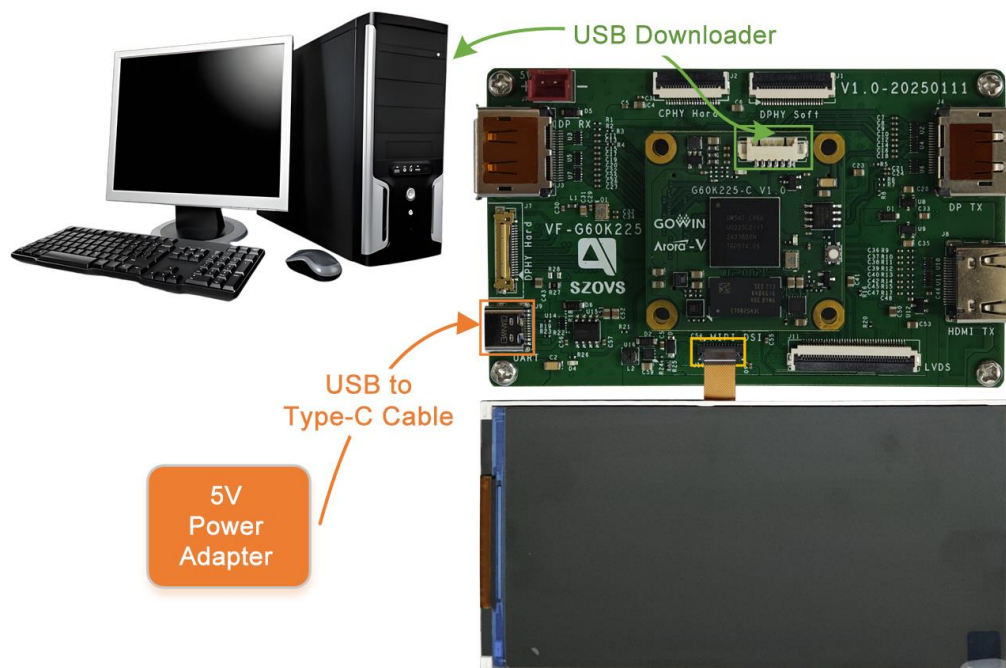
注記：

MIPI 液晶ディスプレイの FPC ケーブルをベースボードのコネクタに接続する際は、金属面を下向き、補強板面を上向きにする必要があります。下図に示すとおりです。



ハードウェア接続図は次のとおりです。

図 3-12 1080*1920@60 DSI LCD ディスプレイ表示実験のハードウェア接続図



3.6.4 デモの効果

プログラムがダウンロードされた後、MIPI 液晶ディスプレイに 4 つの画像がループして表示されます。

3.7 1920*1080@60 DP ディスプレイ表示実験

3.7.1 デモの機能

1080P DP ディスプレイ表示を実装します。

3.7.2 デモのハードウェア・コンポーネント

1. DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 コアボード
2. DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 ベースボード
3. USB ダウンローダ
4. Type-C ケーブル
5. ディスプレイ (DP インターフェース付き)
6. DP ケーブル
7. PC

図 3-13 1920*1080@60 DP ディスプレイ表示実験のハードウェア・コンポーネント



- ① DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0コアボード
- ② DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0ベースボード
- ③ USBダウンローダ
- ④ Type-Cケーブル
- ⑤ ディスプレイ (DPインターフェース付き)
- ⑥ DPケーブル
- ⑦ PC

3.7.3 デモのハードウェア接続

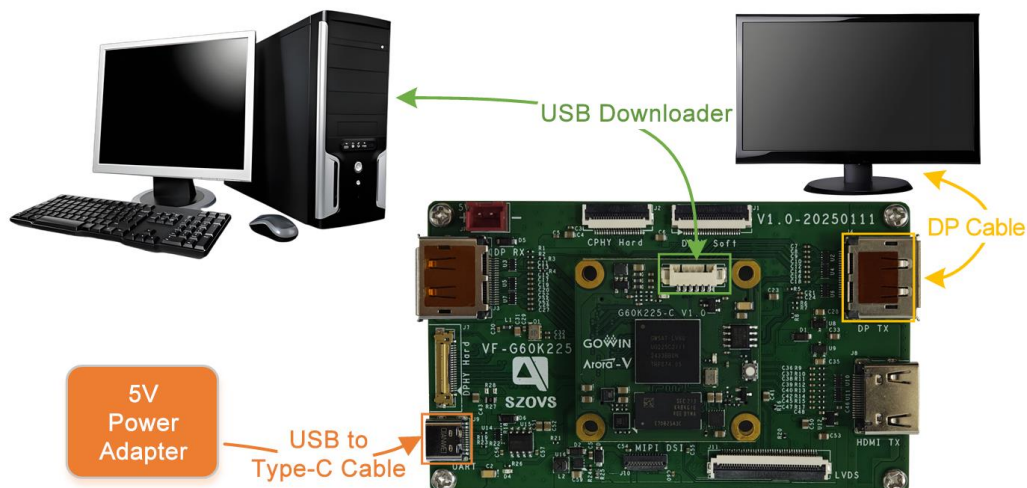
1. まず、コアボードをベースボードに挿入します。
2. USB ダウンローダをコアボード上の ZH1.25-6 コネクタ (J4) に接続します。
3. DP ケーブルを使用して、DP ディスプレイをベースボード上の HDMI

インターフェース(J4)に接続します。

- 最後に、5V 電源アダプターの Type-C ケーブルをベースボード上の USB Type-C コネクタ (J9) に挿入し、開発ボードに電源を供給します。

ハードウェア接続図は次のとおりです。

図 3-14 1920*1080@60 DP ディスプレイ表示実験のハードウェア接続図



3.7.4 デモの効果

プログラムがダウンロードされた後、DP ディスプレイに 4 つの画像がグループして表示されます。

3.8 1920*1080@60 DP ディスプレイ受信・表示実験

3.8.1 デモの機能

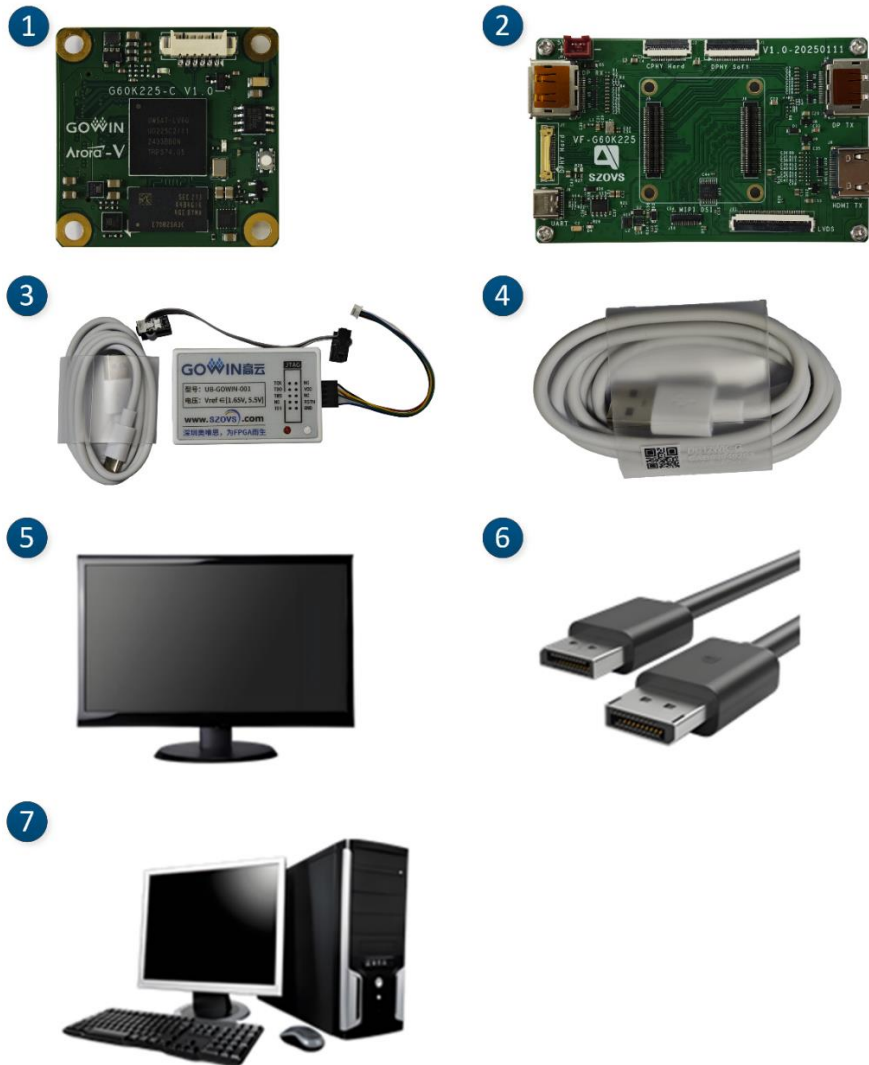
1080P DP 受信および表示を実装します。

3.8.2 デモのハードウェア・コンポーネント

1. DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 コアボード
2. DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 ベースボード
3. USB ダウンローダ
4. Type-C ケーブル
5. ディスプレイ (DP インターフェース付き)
6. DP ケーブル
7. PC

図 3-15 1920*1080@60 DP ディスプレイ受信・表示実験のハードウェア・コンポーネント

ント



- ① DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0コアボード
- ② DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0ベースボード
- ③ USBダウンローダ
- ④ Type-Cケーブル
- ⑤ ディスプレイ (DPインターフェース付き)
- ⑥ DPケーブル
- ⑦ PC

3.8.3 デモのハードウェア接続

1. まず、コアボードをベースボードに挿入します。
2. USB ダウンローダをコアボード上の ZH1.25-6 コネクタ (J4) に接続します。
3. 2本のDPケーブルを使用して、ベースボード上の DP_TX インター

フェース (J4) をディスプレイに、DP_RX インターフェース (J3) を PC に接続します。

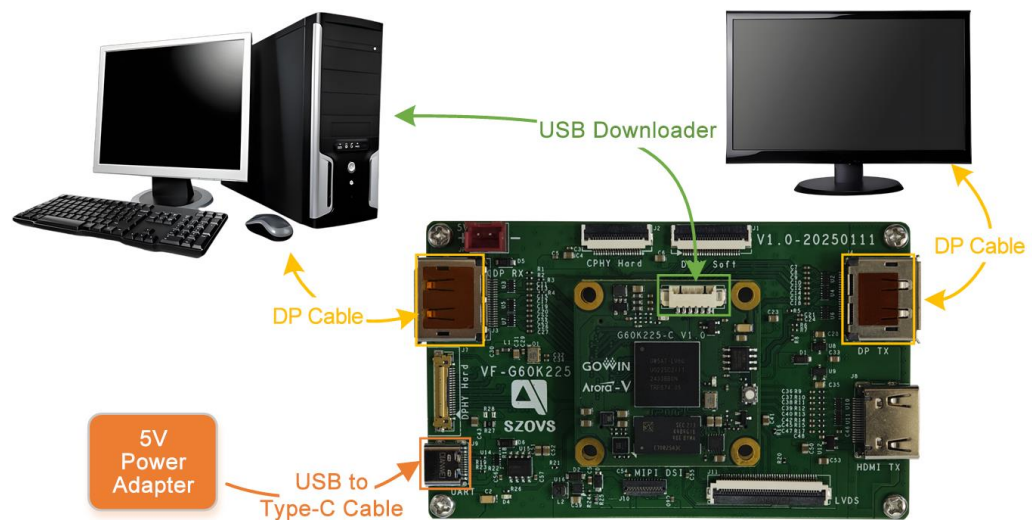
- 最後に、5V 電源アダプターの Type-C ケーブルをベースボード上の USB Type-C コネクタ (J9) に挿入し、開発ボードに電源を供給します。

注記：

入力ソースとしてコンピュータを使用する場合、インターフェースの抜き差しを繰り返すと、画面のちらつきなどの異常現象が発生することがあります。コアボード上のキーを押してリセットすると、ちらつきの問題が解決します。

ハードウェア接続図は次のとおりです。

図 3-16 1920*1080@60 DP ディスプレイ受信・表示実験のハードウェア接続図



3.8.4 デモの効果

プログラムがダウンロードされた後、コンピュータのデスクトップがディスプレイに正常に表示されます。

3.9 1920*1080@60 DDR3 画像バッファリングと HDMI ディスプレイ表示実験

3.9.1 デモの機能

リアルタイムで生成された 1920*1080@60 画像を DDR3 にバッファリングし、1920*1080@60 ビデオタイミングで読み出し、HDMI ディスプレイに出力します。

3.9.2 デモのハードウェア・コンポーネント

1. DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 コアボード

2. DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 ベースボード
3. USB ダウンローダ
4. Type-C ケーブル
5. ディスプレイ (HDMI インターフェース付き)
6. HDMI ケーブル
7. PC

図 3-17 1920*1080@60 DDR3 画像バッファリングと HDMI ディスプレイ表示実験のハードウェア・コンポーネント



- ① DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0コアボード
- ② DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0ベースボード
- ③ USBダウンローダ
- ④ Type-Cケーブル
- ⑤ ディスプレイ (HDMIインターフェース付き)
- ⑥ HDMIケーブル

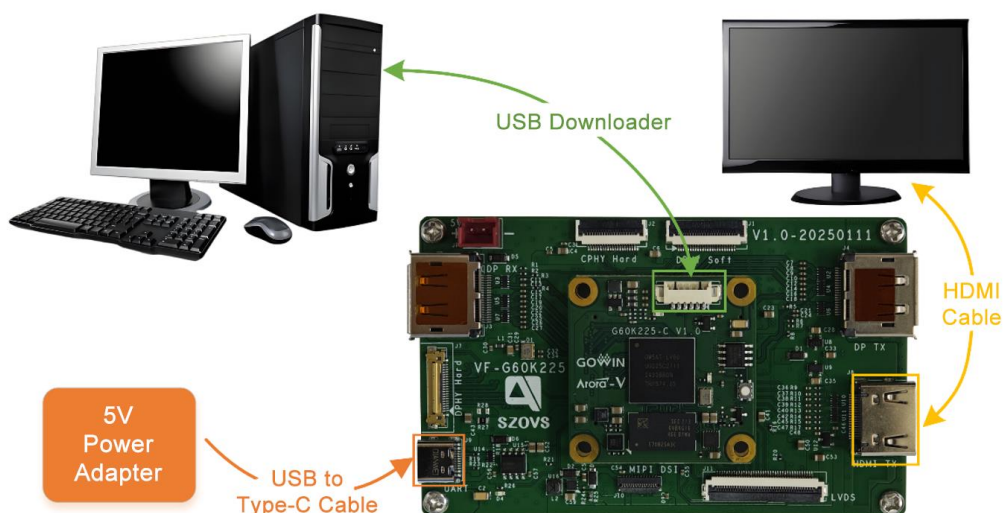
⑦ PC

3.9.3 デモのハードウェア接続

1. まず、コアボードをベースボードに挿入します。
2. USB ダウンローダをコアボード上の ZH1.25-6 コネクタ (J4) に接続します。
3. HDMI ケーブルを使用して、HDMI ディスプレイをベースボード上の HDMI インターフェース(J8)に接続します。
4. 最後に、5V 電源アダプターの Type-C ケーブルをベースボード上の USB Type-C コネクタ (J9) に挿入し、開発ボードに電源を供給します。

ハードウェア接続図は次のとおりです。

図 3-18 1920*1080@60 DDR3 画像バッファリングと HDMI ディスプレイ表示実験のハードウェア接続図



3.9.4 デモの効果

プログラムがダウンロードされた後、HDMI ディスプレイに 4 つの画像がループして表示されます。

3.10 1024*600@60 DDR3 画像バッファリングと LVDS ディスプレイ表示実験

3.10.1 デモの機能

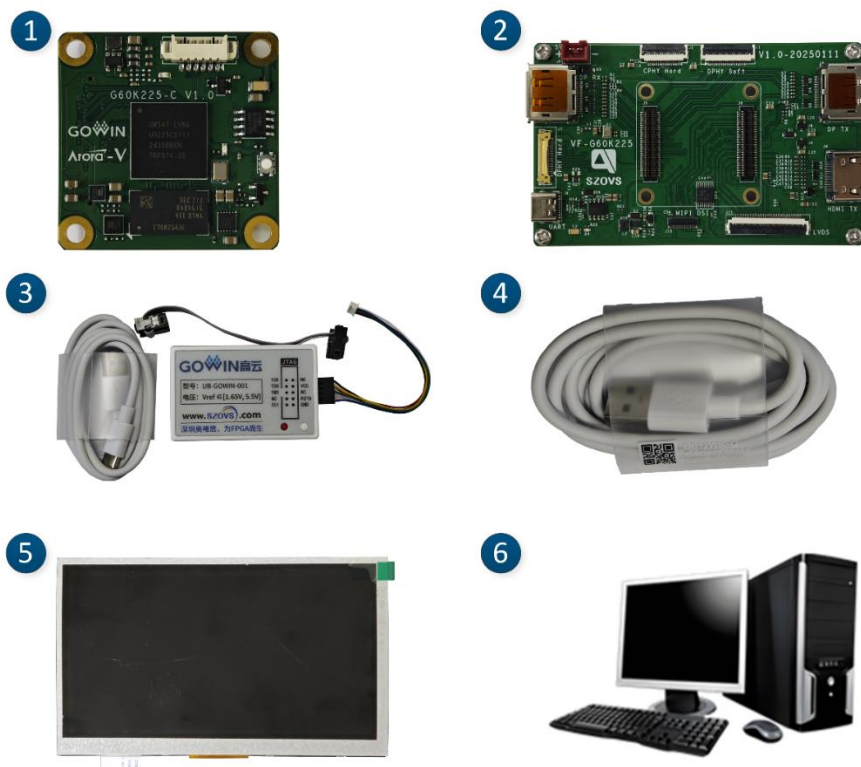
リアルタイムで生成された 1024*600@60 画像を DDR3 にバッファリングし、1024*600@60 ビデオタイミングで読み出し、LVDS ディスプ

レイに出力します。

3.10.2 デモのハードウェア・コンポーネント

1. DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 コアボード
2. DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 ベースボード
3. USB ダウンローダ
4. Type-C ケーブル
5. 1024*600 LVDS/RGB LCD ディスプレイ
6. PC

図 3-19 1024*600@60 DDR3 画像バッファリングと LVDS ディスプレイ表示実験のハードウェア・コンポーネント



- ① DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0コアボード
- ② DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0ベースボード
- ③ USBダウンローダ
- ④ Type-Cケーブル
- ⑤ 1024*600 LVDS/RGB LCDディスプレイ
- ⑥ PC

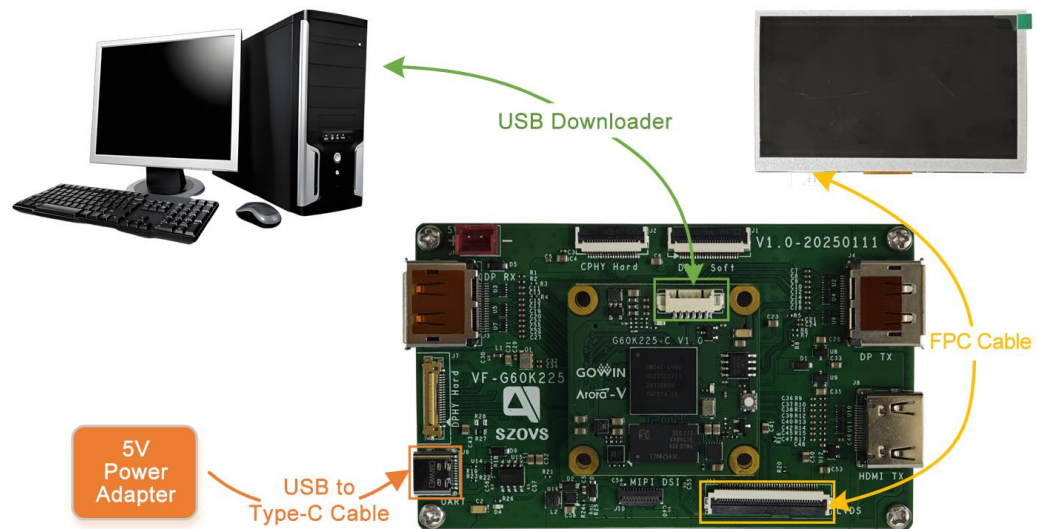
3.10.3 デモのハードウェア接続

1. まず、コアボードをベースボードに挿入します。

2. USB ダウンローダをコアボード上の ZH1.25-6 コネクタ (J4) に接続します。
3. FPC ケーブルを使用して、LVDS ディスプレイをベースボード上の LVDS インターフェース(J11)に接続します。
4. 最後に、5V 電源アダプターの Type-C ケーブルをベースボード上の USB Type-C コネクタ (J9) に挿入し、開発ボードに電源を供給します。

ハードウェア接続図は次のとおりです。

図 3-20 1024*600@60 DDR3 画像バッファリングと LVDS ディスプレイ表示実験のハードウェア接続図



3.10.4 デモの効果

プログラムがダウンロードされた後、LVDS ディスプレイに 4 つの画像がグループして表示されます。

3.11 1080*1920@60 DDR3 画像バッファリングと MIPI DSI LCD ディスプレイ表示実験

3.11.1 デモの機能

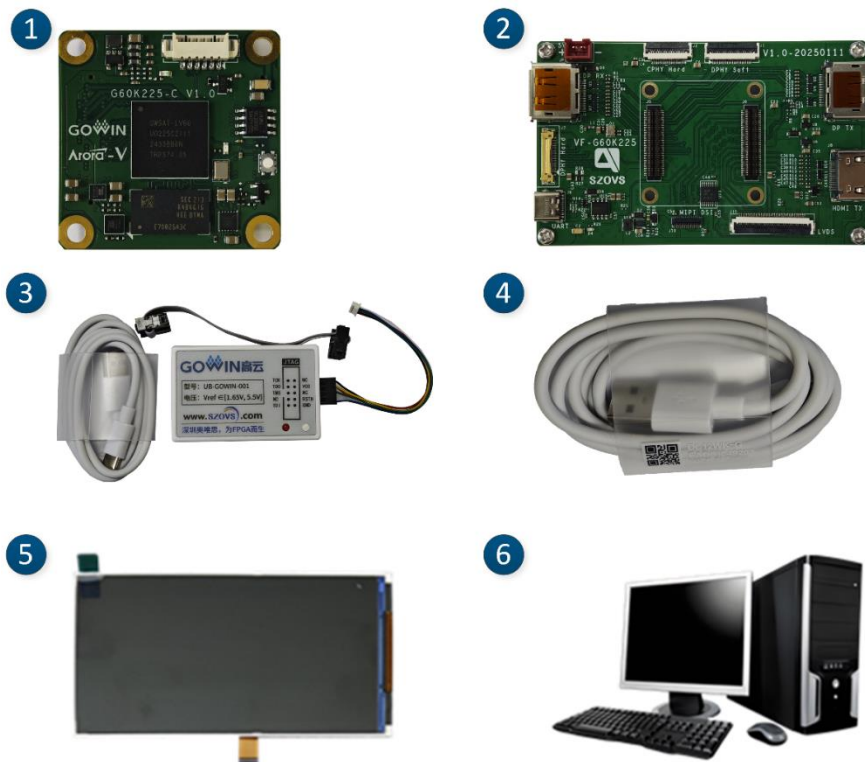
リアルタイムで生成された 1080*1920@60 画像を DDR3 にバッファリングし、1080*1920@60 ビデオタイミングで読み出し、MIPI 液晶ディスプレイに出力します。

3.11.2 デモのハードウェア・コンポーネント

1. DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 コアボード

2. DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 ベースボード
3. USB ダウンローダ
4. Type-C ケーブル
5. 1080×1920 MIPI 液晶ディスプレイ
6. PC

図 3-21 1080*1920@60 DDR3 画像バッファリングと DSI LCD ディスプレイ表示実験
のハードウェア・コンポーネント



- ① DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0コアボード
- ② DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0ベースボード
- ③ USBダウンローダ
- ④ Type-Cケーブル
- ⑤ 1080×1920 MIPI液晶ディスプレイ
- ⑥ PC

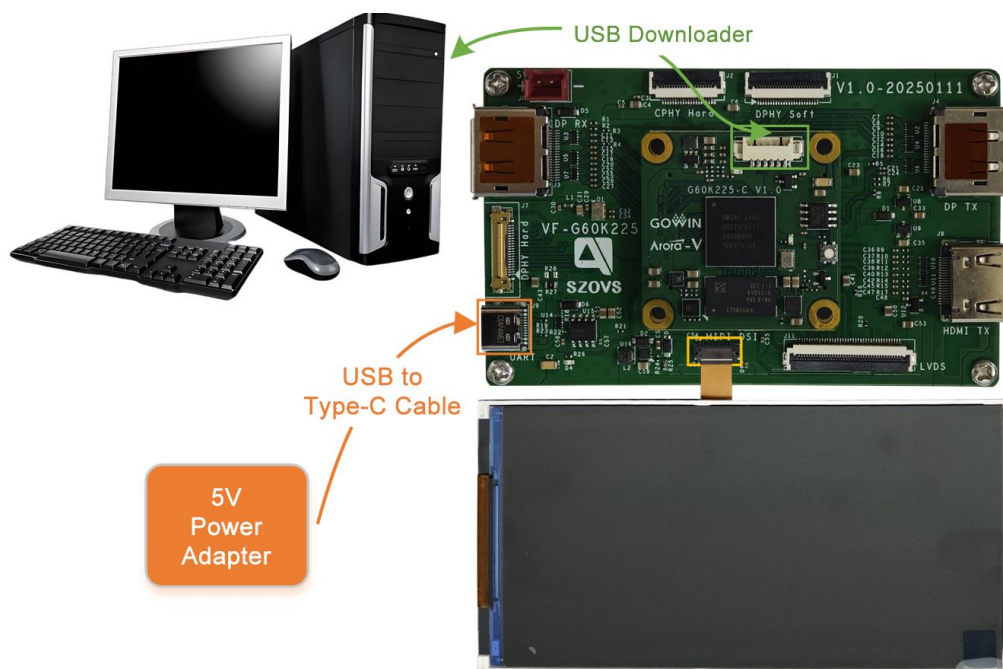
3.11.3 デモのハードウェア接続

1. まず、コアボードをベースボードに挿入します。
2. USB ダウンローダをコアボード上の ZH1.25-6 コネクタ (J4) に接続します。
3. FPC ケーブルを使用して、MIPI 液晶ディスプレイをベースボード上の MIPI DSI インターフェース(J10)に接続します。

- 最後に、5V 電源アダプターの Type-C ケーブルをベースボード上の USB Type-C コネクタ (J9) に挿入し、開発ボードに電源を供給します。

ハードウェア接続図は次のとおりです。

図 3-22 1080*1920@60 DDR3 画像バッファリングと DSI LCD ディスプレイ表示実験のハードウェア接続図



3.11.4 デモの効果

プログラムがダウンロードされた後、MIPI 液晶ディスプレイに 4 つの画像がループして表示されます。

4 画像デモ

4.1 SC130GS 白黒 1 レーン HDMI ディスプレイ表示プロジェクト

4.1.1 デモの機能

このプロジェクトは、DPHY ソフトコアと DDR3 をベースにしており、SC130GS で取得した白黒画像データを DDR3 にバッファリングし、1280*720@60 のビデオ タイミングで HDMI ディスプレイに出力して表示します。

4.1.2 デモのハードウェア・コンポーネント

1. DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 コアボード
2. DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 ベースボード
3. USB ダウンローダ
4. Type-C ケーブル
5. SC130GS モジュール(130 万画素、MIPI、グローバル、白黒)
6. ディスプレイ (HDMI インターフェース)
7. HDMI ケーブル
8. PC

図 4-1 SC130GS 白黒 1 レーン HDMI ディスプレイ表示プロジェクトのハードウェア・コンポーネント



- ① DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0コアボード
- ② DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0ベースボード
- ③ USBダウンローダ
- ④ Type-Cケーブル
- ⑤ SC130GSモジュール(130万画素、MIPI、グローバル、白黒)
- ⑥ ディスプレイ (HDMIインターフェース)
- ⑦ HDMIケーブル
- ⑧ PC

4.1.3 デモのハードウェア接続

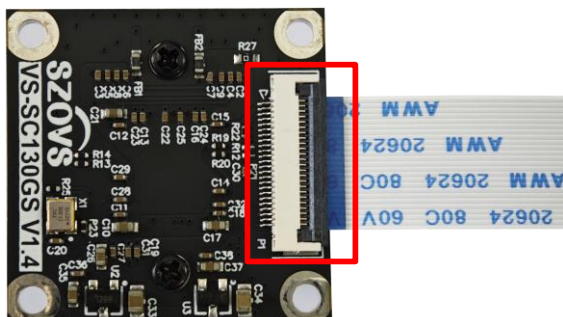
1. まず、コアボードをベースボードに挿入します。
2. USB ダウンローダをコアボード上の ZH1.25-6 コネクタ (J4) に接続

します。

3. SC130GS カメラをベースボード上の MIPI DPHY ソフトコア・インターフェース (J1) に接続します。
4. HDMI ケーブルを使用して、HDMI ディスプレイをベースボード上の HDMI インターフェース(J8)に接続します。
5. 最後に、5V 電源アダプターの Type-C ケーブルをベースボード上の USB Type-C コネクタ (J9) に挿入し、開発ボードに電源を供給します。

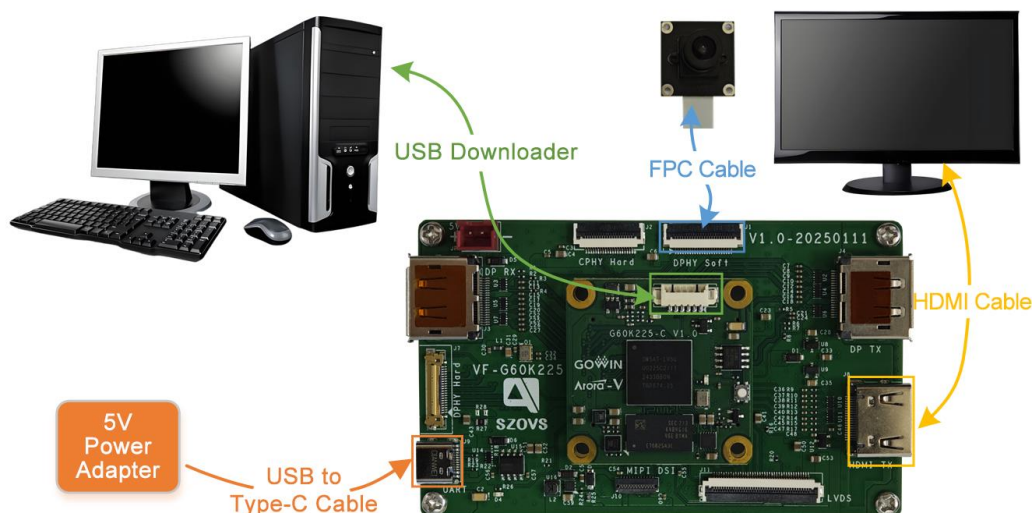
注記：

SC130GS 白黒カメラモジュールは、0.5mm ピッチの 24 ピン逆方向 FPC ケーブルを使用しています。FPC ケーブルをコネクタに接続する際は、下図に示すように、金属面を下向き、青い補強板面を上向きにしてください。



ハードウェア接続図は次のとおりです。

図 4-2 SC130GS 白黒 1 レーン HDMI ディスプレイ表示プロジェクトのハードウェア接続図



4.1.4 デモの効果

プログラムがダウンロードされた後、HDMI ディスプレイには、

SC130GS 白黒カメラで撮影した画像が表示されます。

4.2 SC130GS 白黒 1 レーン LVDS ディスプレイ表示プロジェクト

4.2.1 デモの機能

このプロジェクトは、DPHY ソフトコアと DDR3 をベースにしており、SC130GS で取得した白黒画像データを DDR3 にバッファリングし、1024*600@60 のビデオ タイミングで LVDS ディスプレイに出力して表示します。

4.2.2 デモのハードウェア・コンポーネント

1. DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 コアボード
2. DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 ベースボード
3. USB ダウンローダ
4. Type-C ケーブル
5. SC130GS モジュール(130 万画素、MIPI、グローバル、白黒)
6. 1024*600 LVDS/RGB LCD ディスプレイ
7. PC

図 4-3 SC130GS 白黒 1 レーン LVDS ディスプレイ表示プロジェクトのハードウェア・コンポーネント



- ① DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0コアボード
- ② DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0ベースボード
- ③ USBダウンロード
- ④ Type-Cケーブル
- ⑤ SC130GSモジュール(130万画素、MIPI、グローバル、白黒)
- ⑥ 1024*600 LVDS/RGB LCDディスプレイ
- ⑦ PC

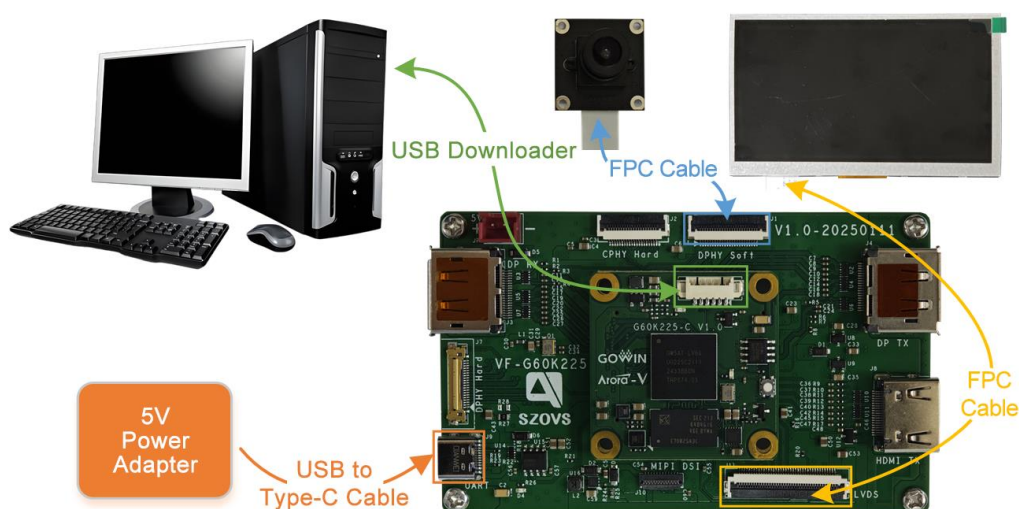
4.2.3 デモのハードウェア接続

1. まず、コアボードをベースボードに挿入します。
2. USB ダウンローダをコアボード上の ZH1.25-6 コネクタ (J4) に接続します。

3. SC130GS カメラをベースボード上の MIPI DPHY ソフトコア・インターフェース (J1) に接続します。
4. FPC ケーブルを使用して、LVDS ディスプレイをベースボード上の LVDS インターフェース(J11)に接続します。
5. 最後に、5V 電源アダプターの Type-C ケーブルをベースボード上の USB Type-C コネクタ (J9) に挿入し、開発ボードに電源を供給します。

ハードウェア接続図は次のとおりです。

図 4-4 SC130GS 白黒 1 レーン LVDS ディスプレイ表示プロジェクトのハードウェア接続図



4.2.4 デモの効果

プログラムがダウンロードされた後、LVDS ディスプレイには、SC130GS 白黒カメラで撮影した画像が表示されます。

4.3 SC2210 カラー1 レーン HDMI ディスプレイ表示プロジェクト

4.3.1 デモの機能

このプロジェクトは、DPHY ソフトコアと DDR3 をベースにしており、SC2210 で取得したカラー画像データを DDR3 にバッファリングし、1920*1080@60 のビデオタイミングで HDMI ディスプレイに出力して表示します。

4.3.2 デモのハードウェア・コンポーネント

1. DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 コアボード
2. DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 ベースボード
3. USB ダウンローダ
4. Type-C ケーブル
5. SC2210 モジュール(200 万画素、MIPI、ローラーシャッター、カラー)
6. ディスプレイ (HDMI インターフェース)
7. HDMI ケーブル
8. PC

図 4-5 SC2210 カラー1 レーン HDMI ディスプレイ表示プロジェクトのハードウェア・コンポーネント



- ① DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 コアボード

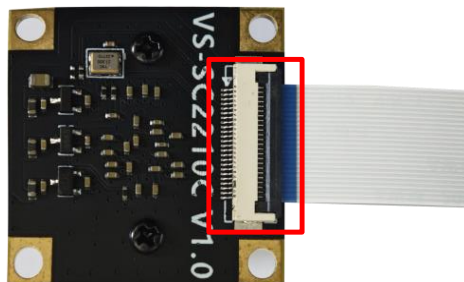
- ② DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0ベースボード
- ③ USBダウンロード
- ④ Type-Cケーブル
- ⑤ SC2210モジュール(200万画素、MIPI、ローラシャッター、カラー)
- ⑥ ディスプレイ (HDMI インターフェース)
- ⑦ HDMIケーブル
- ⑧ PC

4.3.3 デモのハードウェア接続

1. まず、コアボードをベースボードに挿入します。
2. USB ダウンローダをコアボード上の ZH1.25-6 コネクタ (J4) に接続します。
3. SC2210 カメラをベースボード上の MIPI DPHY ソフトコア・インターフェース (J1) に接続します。
4. HDMI ケーブルを使用して、HDMI ディスプレイをベースボード上の HDMI インターフェース(J8)に接続します。
5. 最後に、5V 電源アダプターの Type-C ケーブルをベースボード上の USB Type-C コネクタ (J9) に挿入し、開発ボードに電源を供給します。

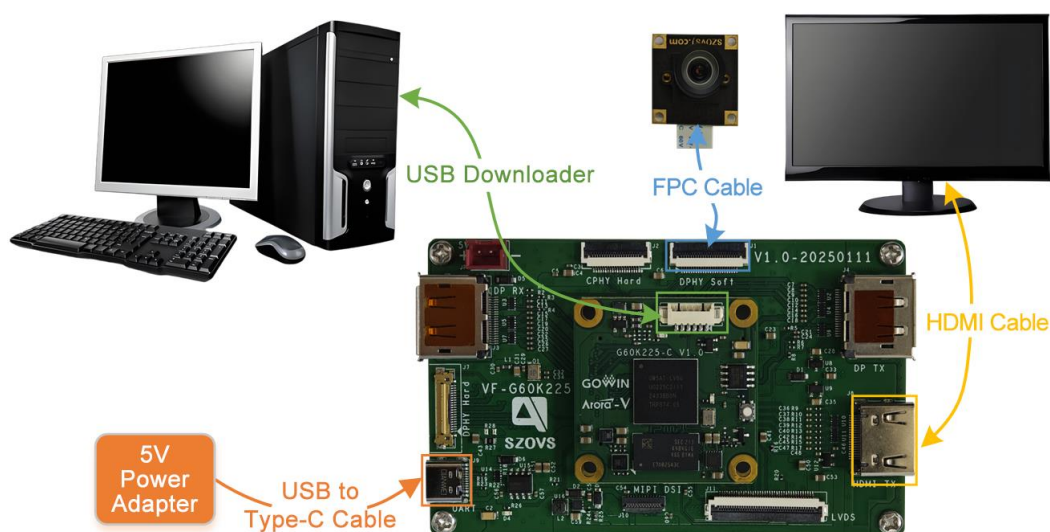
注記：

SC2210 カラーカメラモジュールは、0.5mm ピッチの 24 ピン逆方向 FPC ケーブルを使用しています。FPC ケーブルをコネクタに接続する際は、下図に示すように、金属面を下向き、青い補強板面を上向きにしてください。



ハードウェア接続図は次のとおりです。

図 4-6 SC2210 カラー1 レーン HDMI ディスプレイ表示プロジェクトのハードウェア接続図



4.3.4 デモの効果

プログラムがダウンロードされた後、HDMI ディスプレイには、SC2210 カラーカメラで撮影した画像が表示されます。

4.4 SC2210 カラー1 レーン LVDS ディスプレイ表示プロジェクト

4.4.1 デモの機能

このプロジェクトは、DPHY ソフトコアと DDR3 をベースにしており、SC2210 で取得したカラー画像データを DDR3 にバッファリングし、1024*600@60 のビデオタイミングで LVDS ディスプレイに出力して表示します。

4.4.2 デモのハードウェア・コンポーネント

1. DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 コアボード
2. DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 ベースボード
3. USB ダウンローダ
4. Type-C ケーブル
5. SC2210 モジュール(200 万画素、MIPI、ローラーシャッター、カラー)
6. 1024*600 LVDS/RGB LCD ディスプレイ
7. PC

図 4-7 SC2210 カラー1 レーン LVDS ディスプレイ表示プロジェクトのハードウェア・コンポーネント



- ① DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0コアボード
- ② DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0ベースボード
- ③ USBダウンローダ
- ④ Type-Cケーブル
- ⑤ SC2210モジュール(200万画素、MIPI、ローラシャッター、カラー)
- ⑥ 1024*600 LVDS/RGB LCDディスプレイ
- ⑦ PC

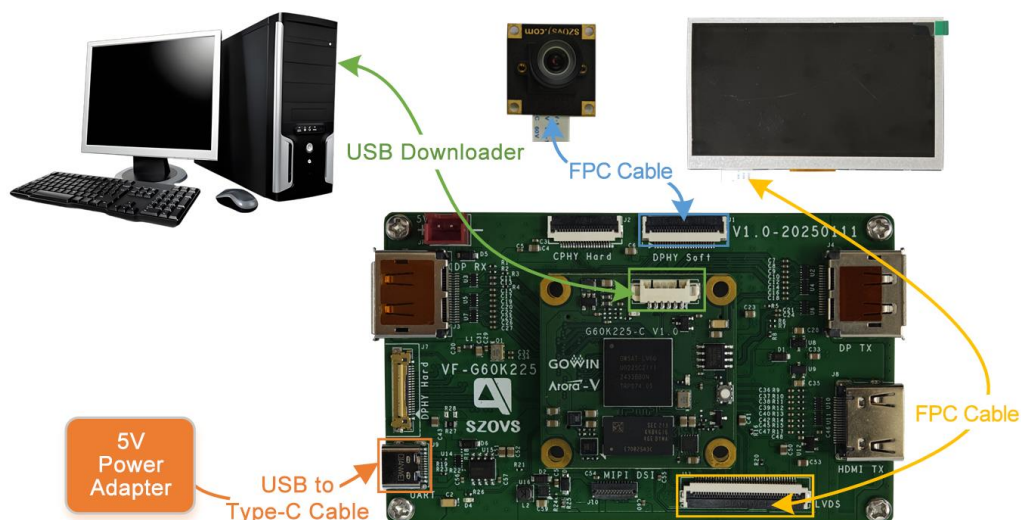
4.4.3 デモのハードウェア接続

1. まず、コアボードをベースボードに挿入します。
2. USB ダウンローダをコアボード上の ZH1.25-6 コネクタ (J4) に接続します。

3. SC2210 カメラをベースボード上の MIPI DPHY ソフトコア・インターフェース (J1) に接続します。
4. FPC ケーブルを使用して、LVDS ディスプレイをベースボード上の LVDS インターフェース(J11)に接続します。
5. 最後に、5V 電源アダプターの Type-C ケーブルをベースボード上の USB Type-C コネクタ (J9) に挿入し、開発ボードに電源を供給します。

ハードウェア接続図は次のとおりです。

図 4-8 SC2210 カラー1 レーン LVDS ディスプレイ表示プロジェクトのハードウェア接続図



4.4.4 デモの効果

プログラムがダウンロードされた後、LVDS ディスプレイには、SC2210 カラーカメラで撮影した画像が表示されます。

4.5 IMX586 1920x1080@60 HDMI ディスプレイ表示プロジェクト

4.5.1 デモの機能

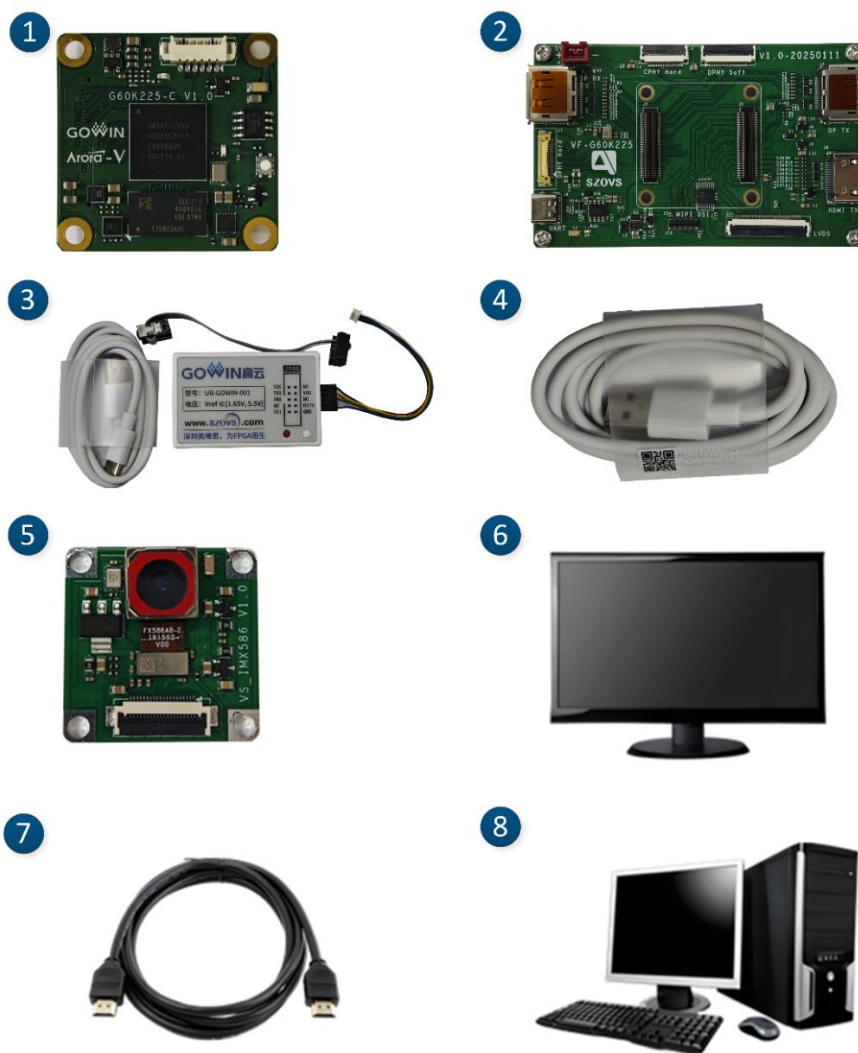
このプロジェクトは、CPHY ハードコアと DDR3 をベースにしており、IMX586 で取得したカラー画像データを DDR3 にバッファリングし、1920*1080@60 のビデオタイミングで HDMI ディスプレイに出力して表示します。

4.5.2 デモのハードウェア・コンポーネント

1. DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 コアボード

2. DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 ベースボード
3. USB ダウンローダ
4. Type-C ケーブル
5. IMX586 モジュール(4800 万画素、CPHY、ローラーシャッター、カラー)
6. ディスプレイ (HDMI インターフェース)
7. HDMI ケーブル
8. PC

図 4-9 IMX586 1920x1080@60 HDMI ディスプレイ表示プロジェクトのハードウェア・コンポーネント



- ① DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0コアボード
- ② DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0ベースボード
- ③ USBダウンローダ
- ④ Type-Cケーブル

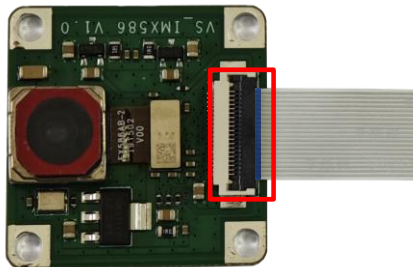
- ⑤ IMX586モジュール(4800万画素、CPHY、ローラシャッター、カラー)
- ⑥ ディスプレイ (HDMI インターフェース)
- ⑦ HDMIケーブル
- ⑧ PC

4.5.3 デモのハードウェア接続

1. まず、コアボードをベースボードに挿入します。
2. USB ダウンローダをコアボード上の ZH1.25-6 コネクタ (J4) に接続します。
3. IMX586 カメラをベースボード上の MIPI CPHY ハードコア・インターフェース (J2) に接続します。
4. HDMI ケーブルを使用して、HDMI ディスプレイをベースボード上の HDMI インターフェース(J8)に接続します。
5. 最後に、5V 電源アダプターの Type-C ケーブルをベースボード上の USB Type-C コネクタ (J9) に挿入し、開発ボードに電源を供給します。

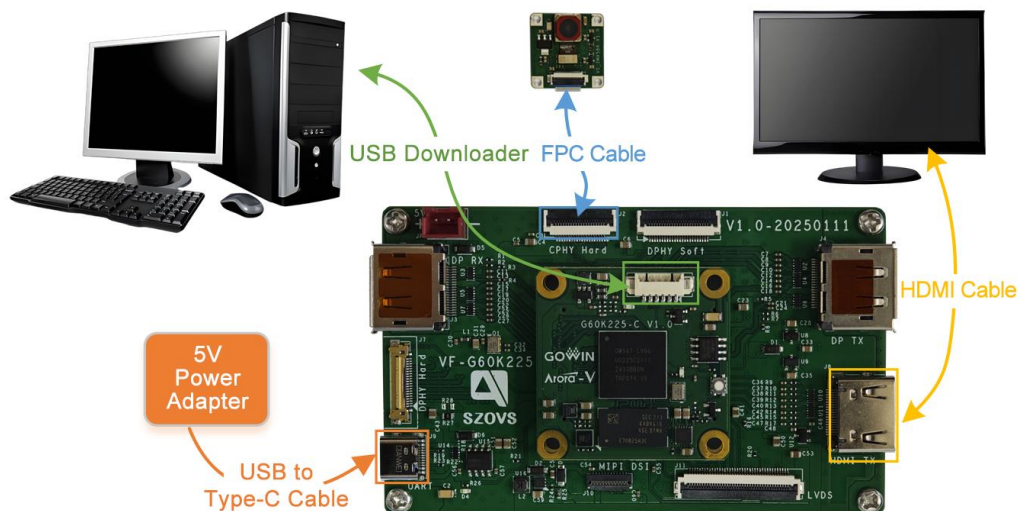
注記：

IMX586 カメラモジュールは、0.5mm ピッチの 20 ピン同方向 FPC ケーブルを使用しています。FPC ケーブルをコネクタに接続する際は、下図に示すように、金属面を下向き、青い補強板面を上向きにしてください。



ハードウェア接続図は次のとおりです。

図 4-10 IMX586 1920x1080@60 HDMI ディスプレイ表示プロジェクトのハードウェア接続図



4.5.4 デモの効果

プログラムがダウンロードされた後、HDMI ディスプレイには、IMX586 カラーカメラで撮影した画像が表示されます。

4.6 IMX586 1024x600@60 LVDS ディスプレイ表示プロジェクト

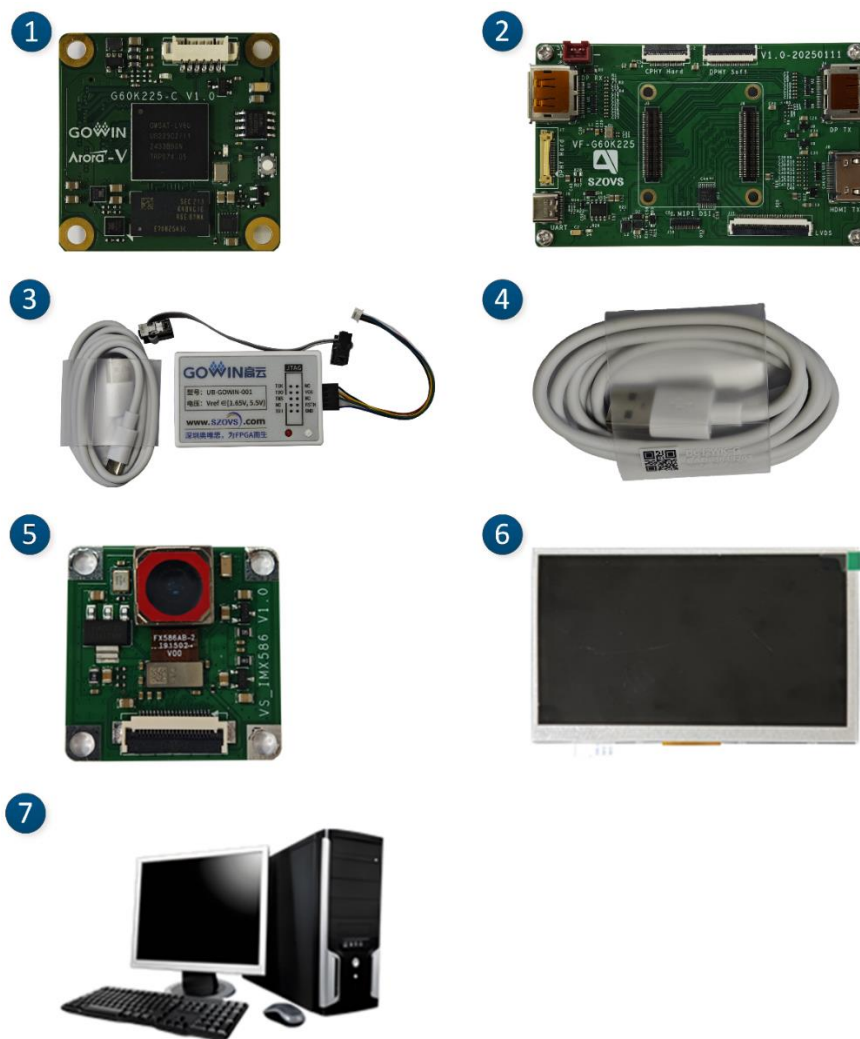
4.6.1 デモの機能

このプロジェクトは、CPHY ハードコアと DDR3 をベースにしており、IMX586 で取得したカラー画像データを DDR3 にバッファリングし、1024*600@60 のビデオタイミングで LVDS ディスプレイに出力して表示します。

4.6.2 デモのハードウェア・コンポーネント

1. DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 コアボード
2. DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0 ベースボード
3. USB ダウンローダ
4. Type-C ケーブル
5. IMX586 モジュール(4800 万画素、CPHY、ローラーシャッター、カラー)
6. 1024*600 LVDS/RGB LCD ディスプレイ
7. PC

図 4-11 IMX586 1024x600@60 LVDS ディスプレイ表示プロジェクトのハードウェア・コンポーネント



- ① DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0コアボード
- ② DK_VIDEO_GW5AT-LV60UG225_V1.0ベースボード
- ③ USBダウンロード
- ④ Type-Cケーブル
- ⑤ IMX586モジュール(4800万画素、CPHY、ローラーシャッター、カラー)
- ⑥ 1024*600 LVDS/RGB LCDディスプレイ
- ⑦ PC

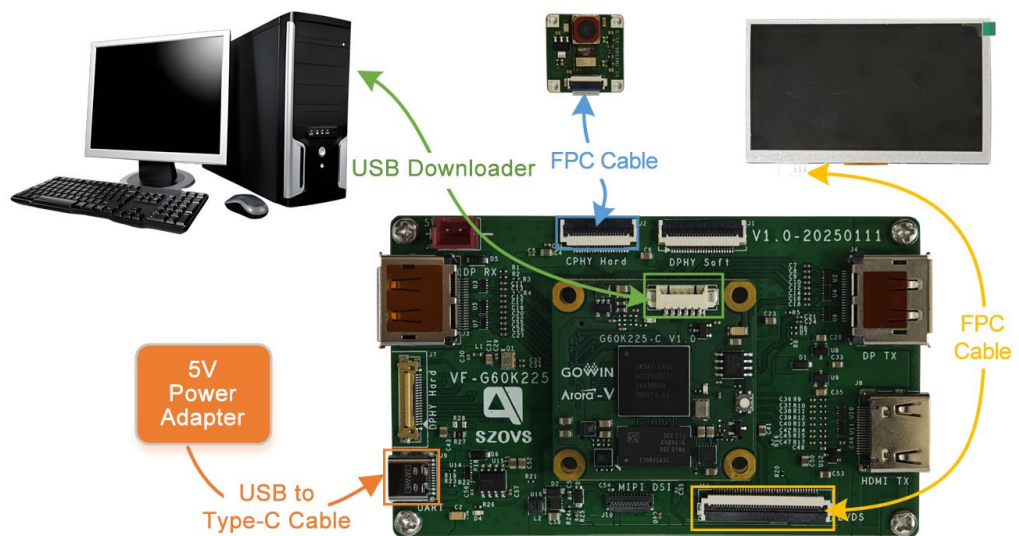
4.6.3 デモのハードウェア接続

1. まず、コアボードをベースボードに挿入します。
2. USB ダウンローダをコアボード上の ZH1.25-6 コネクタ (J4) に接続します。

3. IMX586 カメラをベースボード上の MIPI CPHY ハードコア・インターフェース (J2) に接続します。
4. FPC ケーブルを使用して、LVDS ディスプレイをベースボード上の LVDS インターフェース(J11)に接続します。
5. 最後に、5V 電源アダプターの Type-C ケーブルをベースボード上の USB Type-C コネクタ (J9) に挿入し、開発ボードに電源を供給します。

ハードウェア接続図は次のとおりです。

図 4-12 IMX586 1024x600@60 LVDS ディスプレイ表示プロジェクトのハードウェア接続図



4.6.4 デモの効果

プログラムがダウンロードされた後、LVDS ディスプレイには、IMX586 カラーカメラで撮影した画像が表示されます。

